

平成24年3月期 第3四半期決算短信[日本基準](連結)

平成24年2月10日

上場会社名 フジプレアム株式会社

上場取引所 大

コード番号 4237

URL http://www.fujipream.co.jp/ 代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松本倫長

問合せ先責任者(役職名)執行役員常務 IR・広報部長 (氏名) 大川拓志 TEL 079-266-6161

平成24年2月14日 四半期報告書提出予定日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業和	刂益	経常和	刂益	四半期紅	帕利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,110	△56.8	898	△36.7	833	△40.7	△248	_
23年3月期第3四半期	21,091	24.2	1,418	51.5	1,405	50.5	789	13.6

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 △253百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 763百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△8.71	_
23年3月期第3四半期	27.64	_

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	15,456	6,956	44.5
23年3月期	18,514	7,381	39.5

(参考) 自己資本

24年3月期第3四半期 6,878百万円

23年3月期 7,306百万円

2. 配当の状況

<u>-: 10 - 77 ///00</u>					
	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	_	0.00	_	6.00	6.00
24年3月期	_	0.00	_		
24年3月期(予想)				_	_

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の配当予想は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

平成24年3月期の業績予想につきましては、現時点では業績の見通しを立てることが困難となっているため未定とし、記載しておりません。詳細につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	29,786,400 株	23年3月期	29,786,400 株
24年3月期3Q	1,211,412 株	23年3月期	1,211,412 株
24年3月期3Q	28,574,988 株	23年3月期3Q	28,575,093 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸 表に対する四半期レビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1	. 当四	四半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2)	連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3)	連結業績予想に関する定性的情報	3
2	. サマ	マリー情報(その他)に関する事項	3
	(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
	(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
	(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3	. 四当	半期連結財務諸表	4
	(1)	四半期連結貸借対照表	4
	(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
		四半期連結損益計算書	
		第3四半期連結累計期間	6
		四半期連結包括利益計算書	
		第3四半期連結累計期間	7
	(3)	継続企業の前提に関する注記	8
	(4)	株主資本の会額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に向けてサプライチェーンの回復が進みつつあるものの、欧州における金融市場の不安定化、急激な円高と株安の進行、タイで発生した洪水の影響、長引く原発事故に伴う電力供給の問題等、依然として先行き不透明感の強い状況が続きました。

このような状況の中、当社グループの主力事業であるフラットパネルディスプレイ部門におきましては、円高による輸出環境の悪化や、ディスプレイの大幅な価格下落により、大変厳しい結果となりました。また、クリーン・エコエネルギー部門におきましては、国内向け住宅用の太陽光発電システムの販売が堅調に推移したものの、太陽電池モジュールの市場価格の下落により、前年同四半期を割り込む結果となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高9,110百万円(前年同四半期比56.8%減)となり、損益に関しましては、このような市場の変化を見通し、コスト削減に取組んだ結果、営業利益898百万円(同36.7%減)、経常利益833百万円(同40.7%減)となりました。また、第1四半期連結会計期間において、役員退職慰労金960百万円を特別損失として計上したことにより、四半期純損失248百万円(前年同四半期は789百万円の純利益)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

フラットパネルディスプレイ部門

当部門につきましては、国内市場においては、地上デジタル放送への完全移行後の需要減少や、大幅な価格下落の影響から想定を上回る落込みがありました。また、海外市場においては、急激な円高の影響、新興国市場の成長の鈍化、過剰在庫の適正化のための生産調整により、好調であった前年同四半期の生産数量を大幅に下回りました。このような状況の中、市場から求められる独自のコア技術である超精密貼合技術を活かし、今後、成長が期待できる大型のタッチパネルやタブレットPC及び新方式の3D液晶テレビに必要な超精密貼合等に取組んでおります。また、このような市場の変化を見通し、生産拠点の集約や生産体制の最適化等に即座に対応し、更に、全社に亘るコストダウンと経費の削減を徹底し、一層の経営体質の強化を推し進めました。

この結果、売上高7,317百万円(前年同四半期比61.6%減)、営業利益989百万円(同26.4%減)となりました。

クリーン・エコエネルギー部門

太陽電池の国内市場は、住宅用では、補助金制度や余剰電力買取制度を背景に順調に拡大しております。また、産業用では、2012年7月からの導入が決定している電力の全量買取制度を背景に、メガソーラーや大規模な工場への設置等へ向けて太陽光発電事業の展開の見直しや、新規参入する動き等が相次ぎました。しかしながら、欧州における需要の減速と、中国を中心とする新興国の急激な生産能力の拡大が世界的な在庫過剰を引き起こし、急激な市場価格下落の結果、前年同四半期を割り込むこととなりました。この国内市場における今後の大きな需要拡大と価格下落に対応すべく、独自の技術で開発した超軽量太陽電池の販売を開始いたしました。自社構築の生産ラインで量産し、差別化された商品を競争力ある価格で市場投入することにより、事業の拡大に努めてまいります。

この結果、売上高1,793百万円(前年同四半期比12.8%減)、営業損失119百万円(前年同四半期は44百万円の営業利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が15,456百万円となり、前期末比3,057百万円の減少となりました。主なマイナス要因は、現金及び預金の減少1,292百万円、受取手形及び売掛金の減少1,438百万円、商品及び製品の減少153百万円等であります。

負債は8,499百万円となり、前期末比2,632百万円の減少となりました。主なプラス要因は、固定負債のその他に含まれる役員退職慰労金を含む長期未払金の増加865百万円等であり、主なマイナス要因は、支払手形及び買掛金の減少1,323百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少315百万円、未払法人税等の減少428百万円、長期借入金の減少1,052百万円等であります。

また、株主資本は利益剰余金の減少420百万円により6,898百万円となり、純資産は6,956百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、フラットパネルディスプレイの市場状況及び太陽電池の事業環境が直近にて急激 に変化しており、現時点では合理的な業績予想の算定ができないため、未定といたします。

当社グループといたしましては、この変化の激しい事業分野において、新規のビジネスチャンスをいち早く捉えるべく業績向上を目指してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

(1) 四十朔连帕貝旧內無衣		(単位:千円)
	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6, 341, 532	5, 049, 302
受取手形及び売掛金	3, 253, 824	1, 815, 596
商品及び製品	355, 353	202, 349
仕掛品	278, 078	302, 976
原材料及び貯蔵品	559, 114	526, 460
その他	178, 311	157, 576
貸倒引当金	△20, 924	$\triangle 3,487$
流動資産合計	10, 945, 289	8, 050, 773
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2, 807, 809	2, 669, 377
土地	2, 226, 490	2, 226, 490
その他(純額)	2, 204, 970	1, 916, 338
有形固定資産合計	7, 239, 269	6, 812, 206
無形固定資産		
その他	31,612	26, 948
無形固定資産合計	31, 612	26, 948
投資その他の資産		
その他	302, 661	571, 321
貸倒引当金	△4, 662	$\triangle 4,662$
投資その他の資産合計	297, 998	566, 658
固定資産合計	7, 568, 880	7, 405, 813
資産合計	18, 514, 170	15, 456, 586

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2, 187, 290	863, 337
短期借入金	950, 000	950, 000
1年内返済予定の長期借入金	1, 739, 436	1, 423, 816
未払法人税等	432, 690	4, 546
賞与引当金	20, 990	6, 291
その他	700, 338	660, 761
流動負債合計	6, 030, 745	3, 908, 752
固定負債		
長期借入金	4, 539, 385	3, 487, 303
退職給付引当金	10, 043	4, 069
その他	552, 620	1, 099, 798
固定負債合計	5, 102, 049	4, 591, 171
負債合計	11, 132, 794	8, 499, 924
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 000, 007	2, 000, 007
資本剰余金	2, 440, 803	2, 440, 803
利益剰余金	3, 742, 421	3, 322, 007
自己株式	△863, 878	△863, 878
株主資本合計	7, 319, 354	6, 898, 940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12, 614	7, 745
為替換算調整勘定	△25, 610	△28, 317
その他の包括利益累計額合計	△12, 996	$\triangle 20,572$
少数株主持分	75, 017	78, 294
純資産合計	7, 381, 375	6, 956, 662
負債純資産合計	18, 514, 170	15, 456, 586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書) (第3四半期連結累計期間)

		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	21, 091, 202	9, 110, 836
売上原価	18, 807, 648	7, 317, 120
売上総利益	2, 283, 553	1, 793, 715
販売費及び一般管理費	864, 914	895, 223
営業利益	1, 418, 639	898, 491
営業外収益		
受取利息	4, 622	4, 022
助成金収入	18, 258	670
保険解約返戻金	19, 655	7
固定資産賃貸料	14, 177	1,804
その他	11, 671	5, 643
営業外収益合計	68, 384	12, 146
営業外費用		
支払利息	46, 533	71, 107
為替差損	_	4,600
持分変動損失	5, 510	
貸倒損失	20, 809	_
その他	8, 237	1,766
営業外費用合計	81, 090	77, 473
経常利益	1, 405, 933	833, 164
特別利益		
固定資産売却益	206	_
投資有価証券売却益	<u> </u>	1, 100
特別利益合計	206	1, 100
特別損失		
固定資産売却損	3, 508	_
固定資産除却損	115, 864	125, 654
役員退職慰労金		960, 000
特別損失合計	119, 372	1, 085, 654
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	1, 286, 767	△251, 389
法人税、住民税及び事業税	481, 305	220, 669
法人税等調整額	12, 843	△226, 371
法人税等合計	494, 149	$\triangle 5,702$
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	792, 618	△245, 686
少数株主利益	2, 869	3, 277
四半期純利益又は四半期純損失(△)	789, 748	△248, 964

		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	792, 618	△245, 686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	721	△4, 869
為替換算調整勘定	△30, 217	$\triangle 2,706$
その他の包括利益合計	△29, 496	△7, 576
四半期包括利益	763, 122	△253, 262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	760, 252	△256 , 540
少数株主に係る四半期包括利益	2, 869	3, 277

- (3)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。